

団体がとらえている地域課題の解決を目指し、どのようなまちづくりを目指す事業かを計画書内に記載してください。

重要テーマを後期基本計画の中から選択し、記載してください。

1 団体名	東松島口△地域交流サロン
2 選択した重要テーマ	まちづくりの方向性 3-2 地域と一体になった豊かな心の育成と生涯学習の推進
3 事業名	東松島口△地域交流サロン
4 事業内容	月に1回のペースで地域の施設を利用し、地域交流サロンとして健康体操教室やレクリエーション、講座などを開催する。また、年2回のイベントを実施する。 地域住民の交流の場をつくることで、地域活動への参加を促し、地域の次世代の担い手発掘と、人材育成への機会をつくる。
5 事業実施に至った背景(経緯)	●●地域では、少子高齢化が進むとともに、近年の感染症の影響もあり、地域のイベントや地域活動が減り、住民が交流を行う場が減ってきている。そのため、住民同士が顔を合わせる機会も減ってきており、近所にどのような人が住んでいるのかも分からない状況になっている。そのような中で、自治会等、地域での次世代の担い手不足が近年の問題となっている。
6 事業の目的と具体策	少子高齢化が進む●●地域の活性化と担い手不足の解消のための人材育成を目的に、●●地域に居住している市民を主な対象として交流サロンと地域交流イベントを開催する。 交流サロンやイベントといった住民同士の交流の場を設けることで、老若男女問わず、地域活動に触れる機会をつくり、地域活動の大切さや活動を継続していくことの大切さを知ってもらい、地域活動に関心をもってもらう。特に若い世代の集客を図り、次世代への担い手確保のため、上の世代から下の世代へと人材育成へと繋がる機会をつくる。
7 事業実施期間	令和7年6月1日～令和8年2月28日
8 事業実施協力団体	・●●自治会、●●自治会、●●自治会 ・●●まちづくり協議会
9 事業実施へのアピールポイント	●●地域を活気と魅力のあるよりよい地域にしたい！ そのためには、「自分たちがやらなければならない！」と立ち上がりました。令和5年度に任意団体として団体を立ち上げ、少しずつ活動してきました。 ●●地域には、地域活動への参加は消極的でも、熱い思いを持っている若い世代がまだまだいると思っています。そのような人たちが動き出すためのきっかけづくりと人材発掘につながればと思っています。
10 広報の方法	・チラシやポスターを作成し、地域の回覧板、掲示板で周知する。 ・若い世代を取り込むため、PTAなどのネットワークやSNSを活用し周知する。

いつ何をするか、具体的に記載してください。

問題点や背景などを具体的に記載してください。

何が目的で、目的を達成するために何をするのかを具体的に記載してください。

自分たちがこの事業にかける思いを記載してください。

どのように事業を周知するか、事業の周知方法について記載してください。

11 次年度以降の活動について

<p>令和●年度 (次年度)</p>	<p>事業展望と目標</p>	<p>この事業は続けることに意義があると思うので、まずは事業を継続していく。 参加者を前年度より増やすために、地域住民だけではなく、他の地域からの参加者を増やすことを目指す。(前年度比で2割の参加者数の増員を目指す)</p>
<p>この事業をどのようにしていきたいか事業イメージを具体的に記載してください。</p>		<p>参加者を増やしながらか活動を継続するために、事業内容の工夫に向け、前年度の問題点と改善策についての話し合いを行い、よりよい事業にすることに努める。また、チラシの配布先の工夫や周知方法の工夫を行う。(学校や地域施設への周知のお願いやSNSの活用など) 団体の活動内容やサロンの開催日が確認できるようなSNSなどのアカウントの作成を行い、事業の周知に努める。</p>
<p>目標達成のための取組み</p> <p>目標達成のための取組みについて具体的に記載してください。</p>		<p>交流イベント実施時に参加者への募金の呼びかけを行う。 団体会員の募集の際に、団体会員として運営に携わってもらえる会員だけではなく、会費だけでも協力いただける会員の呼びかけを行うことで、会員登録へのハードルを下げるとともに、会員の獲得・増加を目指す。</p>
<p>事業の自立・継続のための取組み</p> <p>自立した事業運営のための資金計画や取組みについて、具体的に記載してください。</p>		<p>活動に参加していた人が活動を実施する側に回るように、人々が循環し、つながり続いていくことがこの事業の目標・展望である。また、担い手不足については、●●地域だけの課題ではないと思うので、この事業を通して、他の地域にも地域活動に対する意識づけが派生していき、東松島市全体で若い世代を育てていく環境づくりができればと考える。</p>
<p>令和●年度 (次々年度)</p>	<p>事業展望と目標</p>	<p>活動に参加していた人が活動を実施する側に回るように、人々が循環し、つながり続いていくことがこの事業の目標・展望である。また、担い手不足については、●●地域だけの課題ではないと思うので、この事業を通して、他の地域にも地域活動に対する意識づけが派生していき、東松島市全体で若い世代を育てていく環境づくりができればと考える。</p>
<p>申請年度の次年度と次々年度の事業計画について、それぞれ記載してください。</p>		<p>参加した人が実施する側に回るためには、「自分もやってみよう！」と思わせることが大切だと思うので、参加者アンケートを実施し、どのような活動が求められているか参加者の声を聞くようにする。 また、この活動を他の地域に派生していくには、他の地域からの参加者が必要不可欠である。他の地域にも目を向けてもらえるように、活動内容を市民センター報などに取り上げてもらうなど、地域を超えた活動の周知に努める。</p>
<p>事業の自立・継続のための取組み</p>		<p>過去の活動実績をもとに、地域の自治会や、まちづくり協議会などから協賛金などで協力いただけるように掛け合う。 地域の担い手不足の解消や人材育成について、成功事例を講座のような形で発表できるようにすることで、他の地域への活動内容の波及に加え、講師謝礼など事業の運営資金の確保が期待できる。</p>